

ヤマトクビキレガイ

Truncatella pfeifferi Martens

ニナ目クビキレガイ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

なし

選定理由

稀種であるとともに生息環境の悪化が懸念される。県内の生息地における生息密度が低い。

形態

殻高6mm。成貝では幼貝層である殻頂部が欠落して円筒形となる。顕著な縦肋を持つ。

国内分布

北海道南部以西。

県内分布

能登地区の海岸。

生態

海浜の飛沫帯に分布する。湿った石やゴミの下に生息する。

生息地の条件

転石などを有する海岸線の飛沫帯。

生存の危機

海岸線の開発、ゴミの堆積などの環境悪化。(A)

特記事項

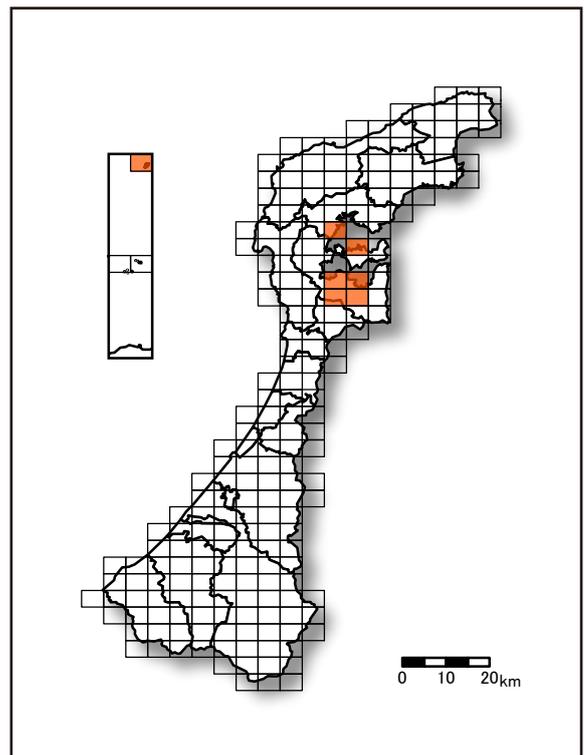
近年の確実な確認記録は舩倉島及び能登島のみのである。

参考文献

南波紀昭 2006. 舩倉島観察会. しぶきつぼ. 27 : 1-4.



写真提供者: 野村卓之



県内の分布